

News Release

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

2025年 11月 27日

NTT東日本株式会社 福島支店

福島ロボットテストフィールドでのDX災害対応訓練を実施します！

～DX活用による情報共有・連携強化、迅速な通信復旧を目指す～

NTT東日本株式会社 福島支店(支店長:大橋 真孝、以下NTT東日本)は、自治体及びライフライン関連企業との合同により、災害時の迅速な対応、地域の皆様に寄り添った通信の確保に向けたDX災害対応訓練※を実施いたします。

今年度の会場となる福島ロボットテストフィールドはロボット・ドローン技術の研究開発や性能評価を行う国内有数の拠点であり、災害時の迅速な対応や安全確保に向けた技術革新の場でもあります。私たちは、この象徴的な場所で、デジタルを活用した訓練を通じ、次世代の防災・減災モデルを福島から発信し、地域社会の安全と安心を支える取り組みを加速していきます。

※自治体、インフラ各社との連携にTeams等のデジタルツール等の機器を活用して行う訓練

1. 実施背景と目的

2011年の東日本大震災、2019年の台風19号及び2022年の東北豪雨災害等での経験を通じ、地域・お客さまに寄り添った災害対応には、被災地域の迅速な通信確保・設備復旧のために、平時からの自治体、ライフライン関連企業との連携強化が必要不可欠であると強く実感いたしました。

本訓練では以下を行うことにより社内外の連携強化を図り、より迅速な通信復旧を目指します。

(1)自治体との連携

福島県と連携し、ドローンを利用して「孤立集落の情報収集」を行う訓練を行います。

(2)ライフライン関連企業間の連携

- ①ドローンを活用した被災状況の確認
- ②移動携帯基地局による通信確保
- ③緊急走行車両による緊急走行訓練 等

2.DX災害対応訓練 実施概要

日時:2025年12月3日(水)12:30～15:00(予定)

会場:福島ロボットテストフィールド(福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼83)

3. 参加団体

- ・福島県
- ・東北電力株式会社 福島支社
- ・東北電力ネットワーク株式会社 相双電力センター
- ・福島地方気象台
- ・株式会社ドコモCS東北 福島支店

・NTTグループ各社(NTT東日本・NTT-ME・NTTアノードエナジー・NTTインフラネット・NTT e-Drone Technology)

4. 主な訓練内容(時系列)

(1)NTT東日本災害対策本部設置訓練

- ・外部機関情報連携訓練
- ・福島県との情報連携訓練

(2)緊急通行車両による情報収集・現地駆付け訓練

(3)災害特別支援隊による自動二輪車での被害調査訓練(NTT東日本千葉事業部広域支援)

(4)ドローンを活用した災害復旧訓練(被災映像伝送、ケーブル復旧:NTT e-Drone Technology)

(5)情報連絡員による被災自治体(想定:南相馬市)通信確保訓練

(6)通信復旧による避難所救済訓練

- ・Wi-Fiカーによるインターネット回線提供
- ・ポータブル衛星車による電話回線提供(NTT東日本千葉事業部広域支援)
- ・災害対策復旧支援車(ローザ)による前進拠点設置(NTT東日本宮城事業部広域支援)

(7)携帯移動基地局車による避難所救済訓練(ドコモCS東北)

(8)通信困難地域によるお困りごと受付窓口の開設訓練

(9)【初実施】福島県の指示による孤立集落対策に向けたドローンを用いた状況把握・情報連携訓練

【昨年度実施模様(会場:福島市十六沼公園)】



5. 今後について

今後も各自治体、ライフライン関連企業との連携を強化し、いつ起こるか分からない災害へ備え相互協力による地域防災力の向上に努めると共にICTを活用した災害対応の高度化に取り組んでまいります。

【本報道発表に関するお問い合わせ先】

NTT 東日本 福島支店 広報担当

佐藤・本間・二階堂 fuku_kisou2-gm@east.ntt.co.jp